

# 中野山遺跡（第10次） NO.1

所在地：四日市市北山町

遺跡への経路：

車で・・・東名阪道四日市東 IC 出口を左折し、県道 64 号を西進、あさけが丘の手前を右折し、下野橋を渡ってください。そのまま直進し、丘陵上の東洋ゴム工場南西側に調査現場があります。

鉄道で・・・三岐鉄道山城駅下車約 2.5km（徒歩約 30 分）

（道路建設現場のため普段はフェンスを閉めています。10月に現地説明会を予定しています。）

位置情報URL：[三重県地図情報サービス 中野山遺跡第10次発掘調査現場](#)

調査の種類：本調査

調査原因：新名神高速道路（四日市 JCT～亀山西 JCT）建設事業

調査期間：平成 25 年 5 月 10 日～平成 25 年 12 月 24 日（予定）

調査面積：3,100 m<sup>2</sup>（予定）

主な遺物：縄文土器・石器・須恵器・土師器

主な遺構：縄文時代煙道付炉穴<sup>えんどうつきろあな</sup>・古代竪穴住居<sup>たてあなじゅうきょ</sup>・古代掘立柱建物<sup>ほったてばしらたてもの</sup>

コメント：調査を進めると、縄文時代早期<sup>えんどうつきろあな</sup>の煙道付炉穴をいくつも発見しました。西隣の第4次調査区で見つかった煙道付炉穴群がさらに広がったものと考えられます。この炉穴から出土した土器は押型文土器<sup>おしがたもんどき</sup>とよばれ、縄文時代早期（およそ8000年～10000年前）のものです。よく観察すると格子状の文様が見られます。また、古代の竪穴住居<sup>たてあなじゅうきょ</sup>・掘立柱建物<sup>ほったてばしらたてもの</sup>も発見しました。今後の調査により、中野山遺跡一帯の原始・古代の様子を知る手がかりになることが期待されます。



左：縄文時代早期<sup>えんどうつきろあな</sup>の煙道付炉穴



右：出土した押型文土器（格子文）<sup>おしがたもんどき</sup> <sup>こうしもん</sup>

問い合わせ先：

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

三重県埋蔵文化財センター 調査研究 3 課四日市整理所

電話番号：059-363-3195／ファックス：059-363-3196

e-mail：[maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)